



IT Holdings

本当のクラウドはどこへ？

～ SI事業からのビュー ～

平成23年11月29日

ITホールディングス株式会社

事業推進本部 本部長 荒野 高志

Copyright © 2010 IT Holdings Corporation

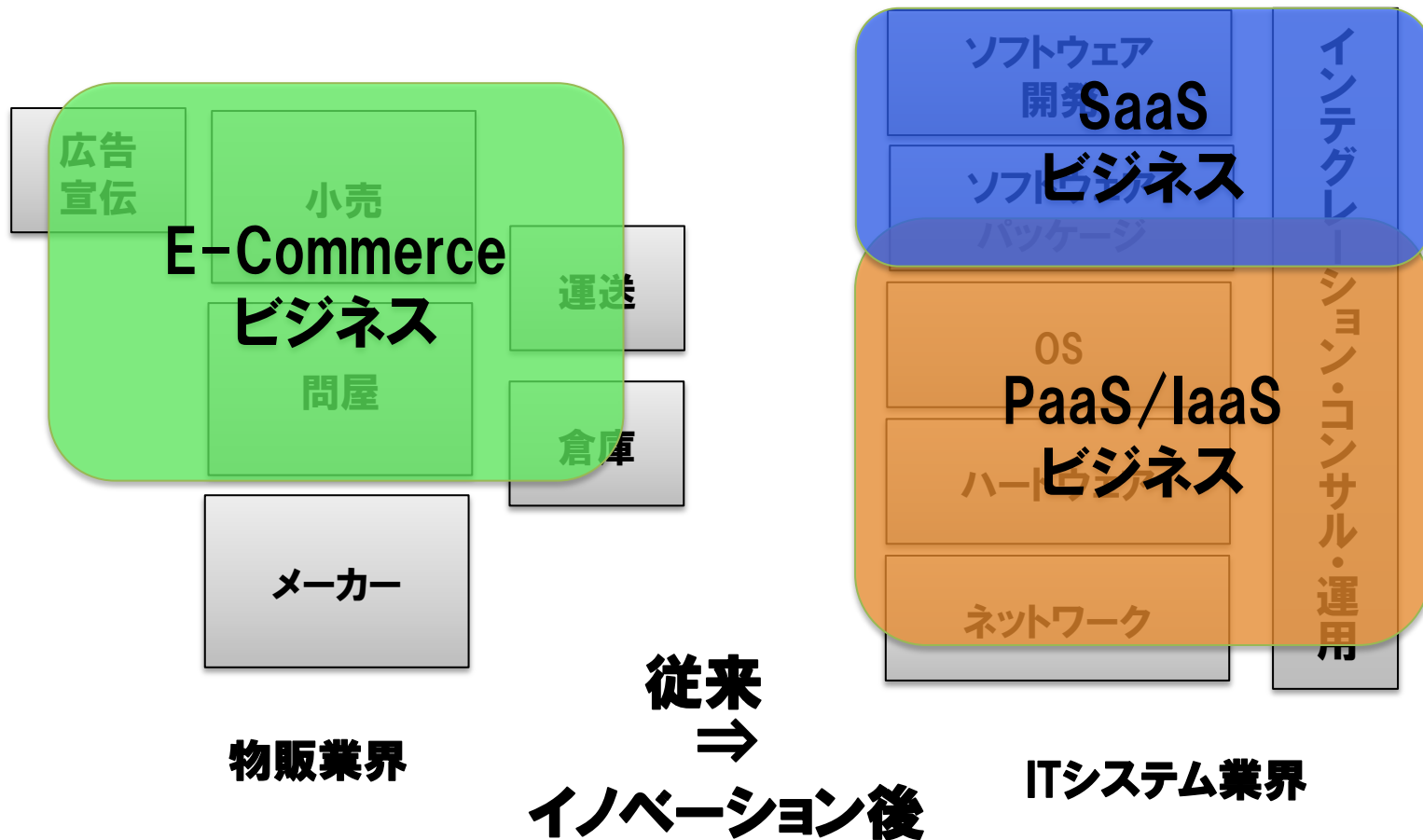
Our Cloud, Your Dream!



IT Holdings
Group

イノベーションがもたらす業界地図の塗り替え

- 従来はセグメント毎に棲み分け ⇒ イノベーションにより業界の地図が塗り替わる



● 昨日の仲間は、今日の敵となるケースも

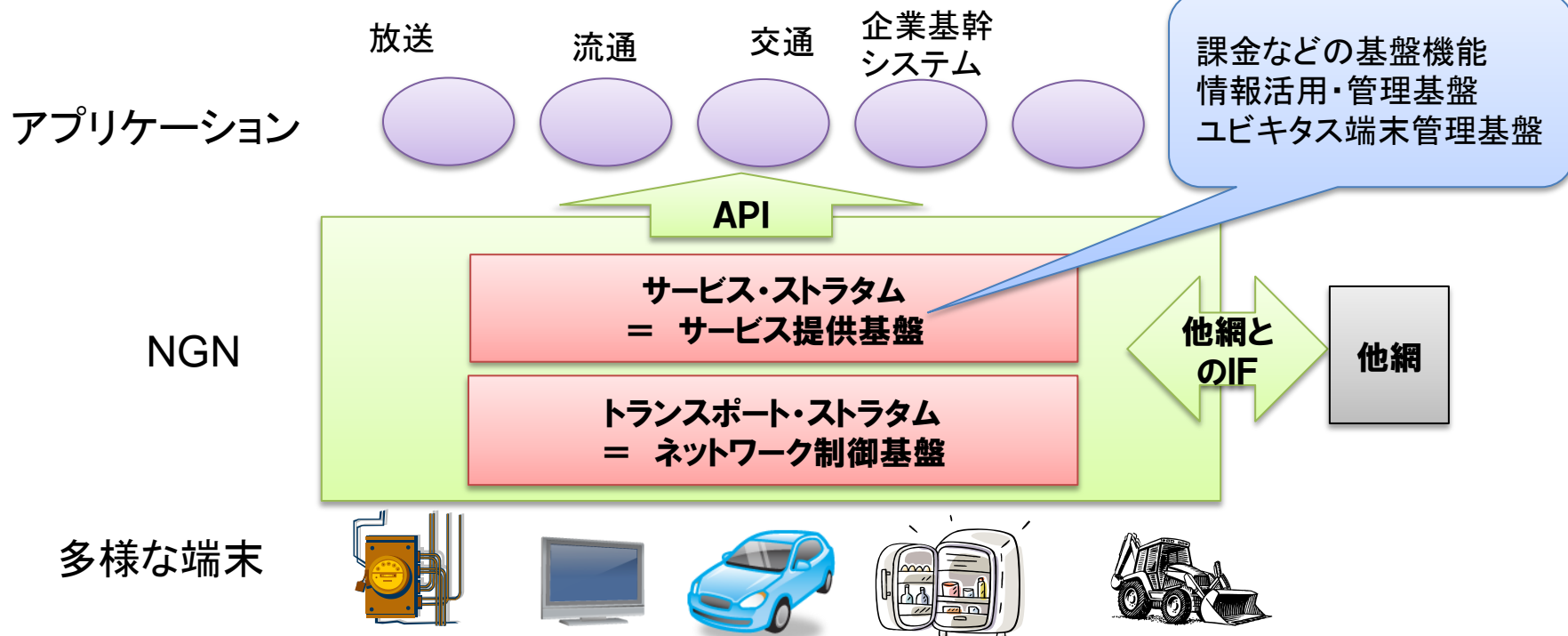
Google, Amazon, Salesforce...



注：実際には企業、個人市場、モバイル関連、業種特化などによりそれぞれの状況がありはるかに複雑

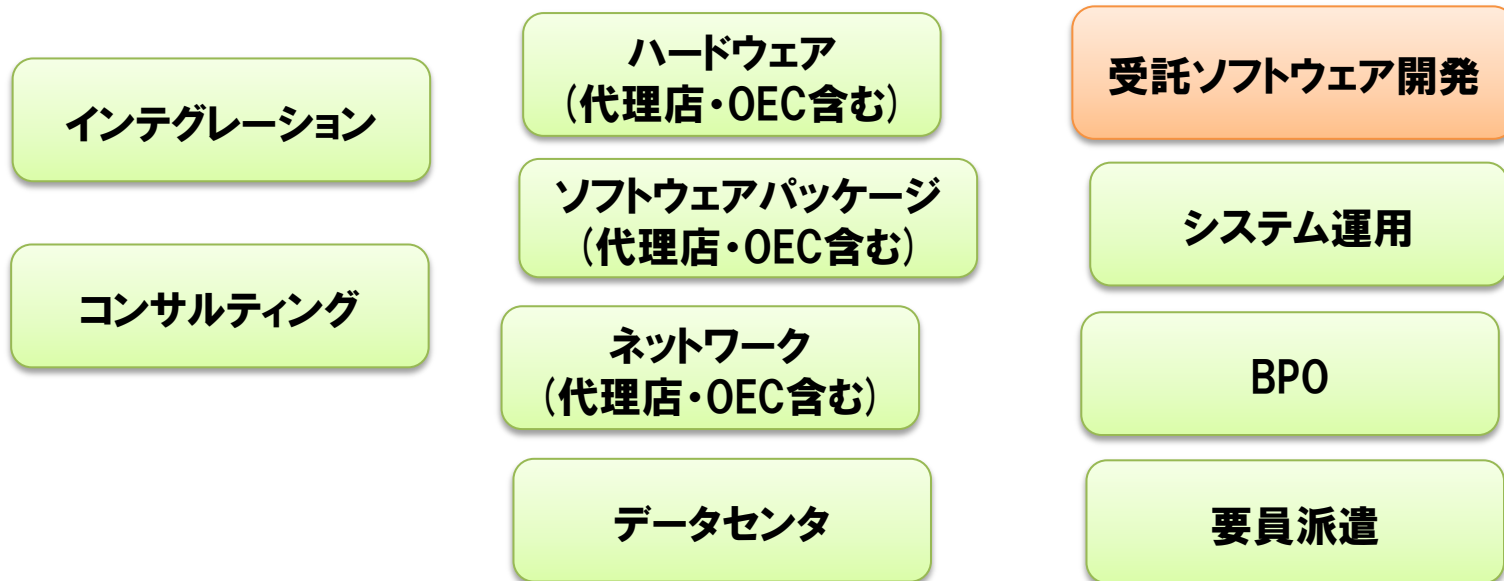
NGN どこへ??

- NGN(Next-Generation Network)の着想はクラウドよりだいぶ前
- もとからのNGNの狙いはまさにクラウド(PaaS/IaaS)と同じ
 - ネットワーク越しにアプリ開発・実行環境を提供し、アプリベンダを引き込んでいく
- NTTはNGNのために網を敷設しようとした
v.s. 今のクラウドはすでに引かれているインターネット上に構築された
⇒ コスト的に勝負は見えていた？



- システムインテグレータ

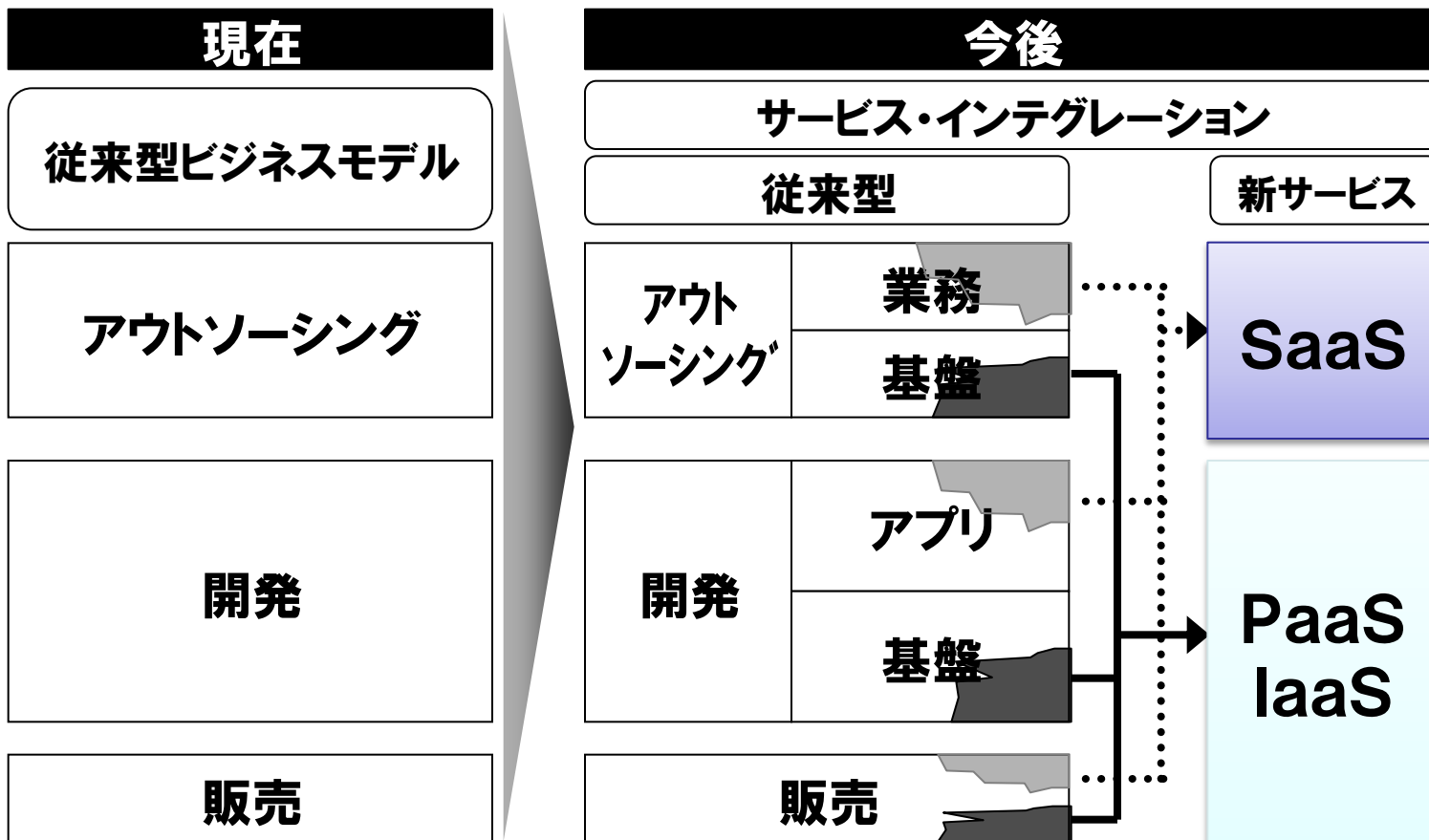
- お客様企業のご要望に対し、種々製品・サービスを組み合わせ、最適なシステムを提供
- 製品・サービスは自社・他社、両方を提供



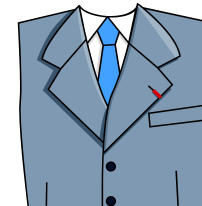
- Slerによって得意な領域は異なるが、ソフトウェアの開発受託が収益の主要部分を占めるSlerも多い

SI業界の置かれている状況

- クラウドサービスへの流れは、これまでのビジネスモデルを大きく変えるだけのインパクトがある



- 仮想化 ⇒ 機器販売が減少
 - 従量課金 ⇒ キャッシュが回収できない
 - SaaS/PaaS ⇒ ソフト作らない／基盤使わない
 - 業界クラウド ⇒ 強者一人勝ち
-
- 要は 個別開発・個別対応 から 画一化・工業化 へ？
 - それに伴うソフトウェア開発量の減少
 - アナロジー
 - 昔は特注品
 - 今は工業製品＋一部の特注品



- 特注品の割合はドメインの特徴によって異なる
 - 要求の多様性
 - 多様性の必然性
 - 多様性を実現するコスト

- プライベートクラウド／クラウドインテグレーションの推進
 - クラウドサービスもひとつの部品として、お客様に最適なシステムをインテグレーション(組みあわせる)
 - オンプレミス(お客様サイト)からデータセンターへの誘致
 - 運用保守の効率化が図れる
 - 注) プライベートクラウド:システム屋さん的には、「情シス部門が社内に提供するクラウド環境」という意味だが、単にデータセンター・仮想化・従量課金ぐらいの要件が満たされていればプライベートクラウドと呼ぶこともある

さて、これで大丈夫なのか？

クラウドの本当の力を生かした戦略なのか？